

平成 27 年度 本校で独自に実施した学力調査における 第 3 学年の結果分析と今後の学習指導の取組について

新宿区立淀橋第四小学校

1 実施した学力調査について

本校の 3 年生を対象として、学力調査を行いました。これは、本校が独自に予算化し、実施しているものです。

2 結果の分析と今後の取組

実施教科	現状や課題	改善に向けた取組
国語	○物語文、説明文共に内容・要旨の理解・達成度が著しく低い児童もいました。 ○作文や書く力の定着に課題が見られる児童が多くいます。したがって、記述式の問題が苦手とする児童も多いです。文章の要旨を適当に書き表す力が十分に身に付いていないことが分かります。 ○自分の意見自体を持ってない児童が、少ないながらもいます。 ○与えられた課題はきちんと取り組む児童が多いです。しかし、既習事項を日常で活用することにつながっていない現状があります。特に、漢字の定着が図れていません。	○理解力が高い児童の意見を全体で発表させたり、ペアで考えさせたりする機会を多く設け、他の児童へも理解の手助けとなるような学び合いを行います。 ○どの授業でも、振り返りや本時のポイントを文章で書く活動を多く織り交ぜ、各自発表させることで書く力の定着を図ります。 ○日常の文章では既習の漢字を使うよう声をかけたり、下書きを書かせた段階で習った漢字を使っていない文章には赤字で漢字に直させたりして、意識を高めます。
算数	○発言は多く、発表やノート作成は意欲的な姿勢で取り組んでいます。しかし、児童によっては 2 年生での既習内容が定着していない様子が見てとれます。	○少人数での教員同士の打ち合わせを密に行い、習熟度に応じた授業展開をすることで、児童が授業のポイントをつかみやすくしていきます。 ○授業開始時のタイムチャレンジの時間を活用し、基礎計算力を身につけさせます。

全体を通して	○発言に対して意欲をもたせるために、発言した児童を称賛する姿勢をもって指導していきます。また、児童の頑張りをスタンプやシールなどの形で表し、努力の蓄積が意識できるように工夫します。 ○事前にした意見の良さを花丸やコメントなどで評価し、自信をつけさせ、発表への意欲につなげます。
--------	--

3 結果のご家庭での活用について

本校全体の、児童の学習における課題の一つとして、定着のための反復学習にとる時間の少なさが挙げられます。今回の学力調査の結果を基に、継続した家庭学習につなげていただければ幸いです。